

経営比較分析表（令和4年度決算）

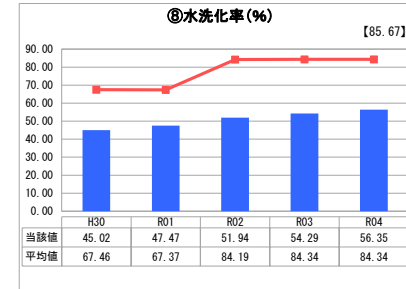
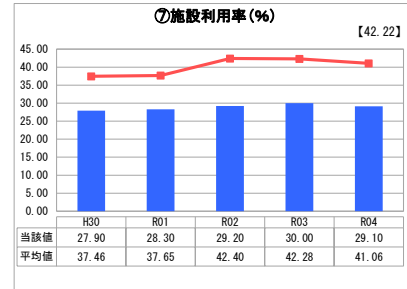
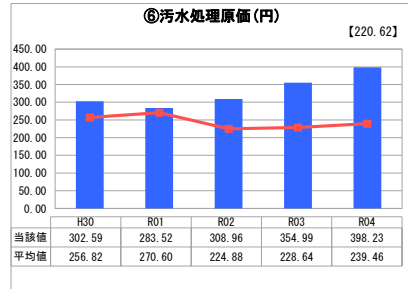
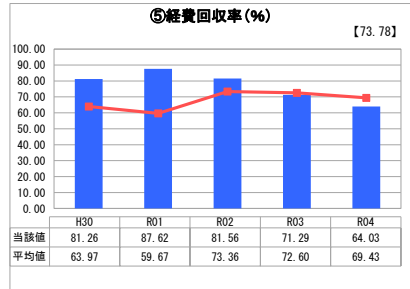
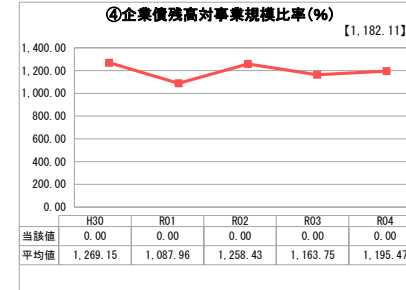
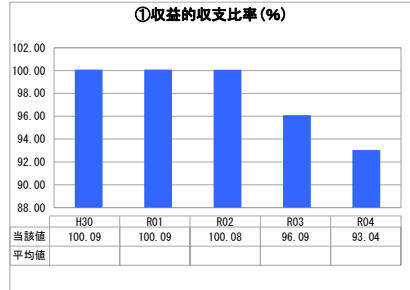
岩手県 軽米町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	29.76	97.91	4,400

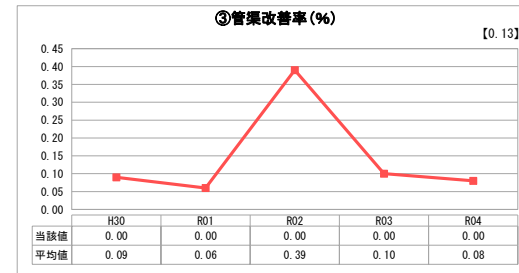
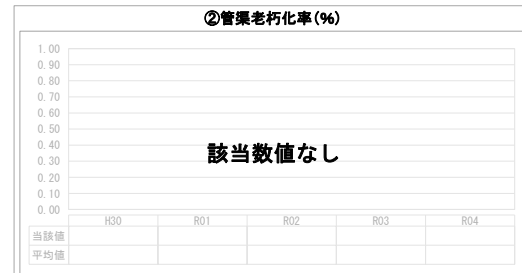
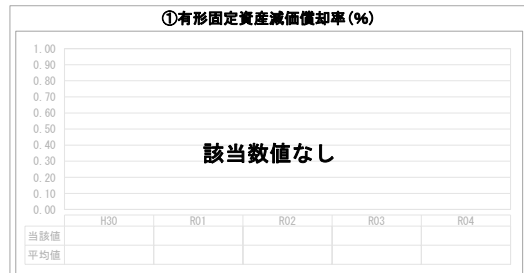
人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
8,312	245.82	33.81
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
2,449	0.98	2,498.98

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率について
収益的収支比率は93.04%となっており、収支赤字と企業債の償還金を一般会計からの繰入金に依存している状態です。当町の使用料水準は、県内でも上位にある一方、接続率が依然として低い状況であり、更なる使用料の値上げは難しい状況です。受益者に対し一層の周知広報を図ることで接続率を向上させ、収益を確保する必要があります。

④企業債残高対事業規模比率について
施設整備のための財源の一部である企業債借入残高は、一般会計からの負担ですべて賄われていますが、今後も将来の利用負担等を考慮し、借入額が膨らまないように運営実態を把握し効率的な事業計画を進めていきます。

⑤経費回収率、⑥汚水処理原価について
動力費及び委託料の増加により営業費用が増加し、有収水量は減少となったことから経費回収率が減少し、汚水処理原価が増額となっています。動力費の高騰などには社会情勢の影響も考えられますが、今後も営業費用の縮減に努めます。

⑦施設利用率、⑧水洗化率について
水洗化率が54.29%から56.35%と増加している一方で、施設利用率が30.00%から29.10%と減少しています。節水技術の向上など1世帯当たりの排水量がさらに減っていくことが想定されるなか、今後も接続率向上につながるよう、下水道の啓蒙普及に努めます。

2. 老朽化の状況について

当町の施設は供用開始から17年が経過していますが、法定耐用年数に到達した管きよ等はまだまだ無いため、今後の状況に応じて検討します。
機械設備等は耐用年数に達しているものもありますが、大きな故障は発生していません。今後も点検を実施していくほか、ストックマネジメント計画を作成し、計画的な長寿命化と更新に努めます。

全体総括

類似団体と比べて、経費回収率や施設利用率が低く汚水処理原価が高い状況にあります。主な原因は水洗化率が低いことにあり、広報誌等を活用していますが、他の手段も検討しながら、接続率の向上に努めます。
今後も令和8年度までの「軽米町下水道事業経営戦略」を基本としながら、下水道施設全体の中長期的な状態予測に基づき修繕により、改築更新経費の削減に努めます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。